

Newsletter



編集・発行：白石市国際交流協会（白石市役所総務課内）TEL 0224-22-1331 FAX 0224-24-4861 EMAIL:koryu@city.shiroishi.miyagi.jp

特集：2019 オーストラリア友好親善訪問団

7月24日～8月1日

市内中学生派遣事業として、生徒8名と引率2名の訪問団が9日間の日程でオーストラリアを訪問しました。



オーストラリアへの中学生派遣事業は、中学生の豊かな国際感覚を育み、互いの文化・価値観・生活様式等の理解と尊重を図り、友情を育むことを目的としています。

昨年に引き続き、今年度も日本と深い繋がりのあるオーストラリアのニュー・サウス・ウェールズ州カウラ市にある私立聖ラファエル・カトリック・スクールで学校体験入学を行い、同校に通っている生徒の家でホームステイしました。

同校への訪問は今年で3度目となり、そして、今年の10月には、同校の生徒が白石を訪問し、学校体験とホームステイをする相互交流が実現します。



◆シドニーからブルーマウンテン経由でカウラに到着、ホストファミリーと対面！

到着後すぐにそれぞれのホームステイ先へ～(^_^)；

7月25日



白石を出発してからホストファミリーの変更連絡があり少しバタバタしましたが、無事に到着。ホストファミリーのみなさんがすでに学校前で待っていてくれました。ホストファミリーとの対面は、いきなりネイティブの英語を聞き、どのように返事をしたらいいか焦った生徒もいたようです(>_<)

今回の訪問団のホストファミリーの何家族かは、10月に来白する生徒のお家でも受け入れてくれました。3年連続でホストファミリーになってくれたご家族もあり、今年も快く白石の生徒を受け入れていただきました。!(^^)!

●訪問団の声●

- ◎初めての外国でのホームステイは英語が分からず大変だったが最後には慣れた
- ◎最初は話せなかったが、みなさん話しかけてくれて嬉しかった
- ◎英語が通じないときはジェスチャーで乗り切った
- ◎もっと英語を勉強していけばよかった。



▲カウラ到着後はすぐにホームステイ先へ・・・「ええ～(; ∇ ;)」



▲ギャラガー校長先生と訪問団

●私立聖ラファエル・カトリック・スクールについて●

- ・2019年度全校生徒数：約440人
(幼稚園児から12年生まで)
- ・8年生(中学2年生)：39人
- ・カトリック教の学校で、教会がすぐ隣にあります。
- ・授業の時間割は、50分授業が6時間あります。
(20分の休憩が2回あり、昼休み(ランチ)は40分。)
- ・日本の学校での放課後の部活動はなく、ほとんどの生徒は地域のサッカー、ラグビー、ホッケー、ネットボールなどのチームに所属し大会に出場します。

●オーストラリアの教育システムについて●

オーストラリアでは州政府(各州に教育省がある)が教育制度を管轄していて、州によって教育制度が異なります。オーストラリアの中等・高等学校は日本でいう中高一貫教育制度を採用。7~10年生までが中等部、11・12年生が高等部です。義務教育は10年生終了時までで、多くの学生は大学進学希望者としてそのまま11年生と12年生に進学します。

学校の年度は、1月下旬から2月上旬に始まり、12月中旬に終わります。(州によって異なる)



▲訪問団を代表してあいさつしました!(^^)!



▲白石市から記念品の書を贈呈。令和元年の「和」から和の意味である harmony に日豪交流に思いを込めて・・・。

オーストラリアでは学年の呼び方は、6年生以降も、7年生、8年生・・・と12年生まで続けた呼び方をするんだよ！



学校より1時限の授業をいただき、日本や白石をクイズ形式にして紹介しました。生徒はもちろん先生にもプレゼンテーションを楽しんでもらえたようです。その後グループに分かれて日本文化の紹介をしました。訪問前の事前研修の時間は限られており、研修外でも大変努力をしたとのこと。白石の生徒によるプレゼンテーションは堂々としたものであり、ギャラガー校長先生から今年もお礼状が届きました。“今年も白石市を代表してきた素晴らしい生徒を受け入れることができたこと、私どもにこのような特別な機会を与えてくれたことに感謝しております。訪問団員のみなさんは、白石市の素晴らしい優秀な大使であります。”(^^)-☆



授業体験では話している英語が理解できない、伝わらないと大変苦労したようですがこれも貴重な経験！言葉が通じない辛さや通じる大切さを学びました。そして日本の学校との違いもいくつかありました。休憩時間におやつを食べる、先生が机の上に座っていた、チャイムがロック音楽だったなど。学校体験日の夜は、ホストファミリーのベネットさんの農場でバーベキュー & ボーンファイアーをしました。団員一同再結集し日本語をたくさん話してスッキリしました(^_^)-☆学校の先生やホストファミリーのみなさんには今年も温かく迎えていただきました。

ホームステイでは、子ども同士で遊んだり、兄妹の面倒をみたりしながら少しずつ言葉や文化を理解していったようです。そして、戦争の歴史が残る日本人墓地、捕虜収容所跡地を訪問し戦争の歴史を知るとともに改めて平和の大切さ平和であることに感謝できる貴重な体験ができました。



◆カウラを出発、またすぐに会えるね！

See you soon!

7月29日



ホストファミリーと一緒に過ごした大切な思い出を急いで自分たちの心の中に詰め込みました。名残惜しいけれど、雄大な景色とカウラの人達とお別れです…。でも、またすぐに白石で会えるんです！全員ではないけれど今回お世話になったホストブラザーとシスターが10月に白石を訪問します。とても楽しみです！

See you in 白石！

◆カウラからジェノラン鍾乳洞、シドニー市内見学

7月29日～7月31日

訪問できなかった生徒がいましたが、車窓から日本人墓地、戦争捕虜収容所、日本庭園を見学し、公開されている鍾乳洞では世界最古と言われているジェノラン鍾乳洞へ。シドニー市内では自治体国際化協会を訪問し現地で働く日本人職員からお話を聞きました。また、歴史的建造物を見学、タロンガ動物園ではオーストラリアならではの動物を観ることができました。



●帰国して・・・●

- ・早寝早起きは健康でいられると感じた。・伝えようとすれば伝わることを学んだ。
- ・今度は自分がホストシスターになるので英語をもっと勉強し、たくさん話せるように頑張る。
- ・オーストラリアを訪問して外国の見方が変わった。
- ・日本とオーストラリアの関係と文化の違いを知ることができた。
- ・日本と繋がりが強いカウラのことと自分が経験したことを伝えたい。

<引率者から・・・“大変意欲的で、全員で協力・励まし合い、逃げずにチャレンジした。時間厳守、整理整頓、気遣いがあり立派でした。”>



.....

「ホワイトストーンジャーナル」「白石市国際交流協会活動の様子」は白石市ホームページ内の「白石市国際交流協会」のページで閲覧できます。

<http://www.city.shiroishi.miyagi.jp/soshiki/1/1245.html>

10月特別編集号-訪問団のインタビュー（近日発行予定）も是非ご覧ください。

